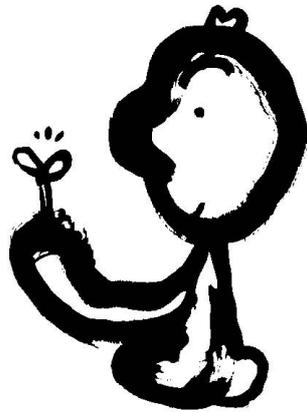


特定非営利活動法人 しみん基金・こうべ

平成 26 年度事業報告書



平成 27 年 5 月

はじめに

昨年（平成 26 年）9 月 24 日、当基金の創設以来理事長を務めてきました黒田裕子が、その生涯を閉じました。1995 年に発生した阪神・淡路大震災以来 20 年間にわたって、文字通り「全身全霊」「不眠不休」で世界中の自然災害の現場で被災者に寄り添い続けてきた人であり、また 20 年前にここ神戸で花開いたボランティア文化の火を灯し続けるために当基金の創設に尽力されました。ここに、そのご遺志を受け継いでいくことを誓います。

しみん基金・こうべでは、阪神・淡路大震災 20 年の節目のときを迎えるにあたって、3 年ぶりに女優の竹下景子さん（当基金・顧問）迎えまして「詩の朗読とメモリアルコンサート」を、主催の復興支援コンサート実行委員会の構成団体のひとつとして企画・開催に関わりました。

また、発災から 4 年を迎える東日本大震災の被災者を支援するために、生活協同組合コープこうべと共催して、ドキュメンタリー映画「うたごころ」上映会を平成 27 年 3 月に開催しました。ここでの収益の一部は、「ずっと・こころ・つなぐ基金」に積み立てることにいたしました。

平成 26 年度の助成事業では、「次代の市民活動の担い手育成を重視する」に加えて「地域との連携の観点を重視する」というテーマを掲げて実施しました。そして、平成 26 年 10 月に開催した公開審査会の結果、9 団体（一般枠；6 団体、特定枠；3 団体）の各事業に合計 258 万 4 千円（一般枠；168 万 4 千円、特定枠；90 万円）の助成金を交付しました。

また、ひょうごボランティア基金の助成を受けて、「ハンズオン型 NPO マネジメント支援講座」事業を行いました。このプログラムでは、研修での学びをそこに参加した人だけの学びに終わらせることなく、その後アドバイザーが各団体を個別訪問することを通じて、その学びが各団体のメンバー間で共有され、さらに団体特有の事情に合わせながらみんなで行う事業計画づくりを支援することで、組織の継続的なマネジメント力アップを図ることを目指しました。

平成 27 年度は当基金も 15 年目の節目を迎えることとなります。この間、助成先団体の活動を通じて、「絆」をつくり繋いでいく役割を担ってきました。今後も、社会的な課題解決に大きな役割を果たしている市民活動を地域の中で育てていくために、当基金自身のファンディング力も高めてまいりたい所存でございます。

皆様方からの更なるご支援、ご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

特定非営利活動法人 しみん基金・こうべ
理事長代行 村井 雅清

目次

はじめに	2
目次	3
1 助成事業	
ア) 平成 26 年度助成事業	4
イ) 平成 26 年度しみん基金・KOBЕ 特別賞	6
ウ) 平成 25 年度助成事業成果報告会	6
2 寄附・募金活動	
ア) 寄附金・募金受入	7
イ) イベント募金	8
① こうべ・あいウォーク 2015 <協働>	
② 竹下景子詩の朗読とメモリアルコンサート <協働>	
③ 「うたごころ (2012 年版)」上映会&榛葉健監督講演会 <協働>	
ウ) 協働企画型寄付システム	9
① 古着チャリティ事業 <協働>	
② あじさい基金 <協働>	
② その他	
エ) 広報・情報発信	9
3 中間支援事業	
ア) ひょうご地域 NPO マネジメント講座<助成>	10
イ) NPO 支援活動	11
ウ) はあ〜とふるふぁんど支援事業<受託>	12
4 運営管理	
ア) 会議	13
イ) 運営上の重要事項	14

1 助成事業

ア) 平成 26 年度助成事業

①助成の趣旨

しみん基金・こうべは、神戸市を中心とする地域の市民団体等による公益を目的とした活動に対して助成をし、それによって市民団体等の活動を促進し、21 世紀の市民社会にふさわしい魅力と活力のある地域の創造に寄与することを目的とします。

②応募対象者

1. 神戸市及び周辺の地域に活動拠点または事務所を有する非営利団体（法人格の有無は問いません）
2. 自主性を確保し、自律的に運営されている団体
3. 団体として継続性を有し、支給された助成金の管理及び事業を遂行する能力・体制を備えた団体

③助成金額

平成 26 年度助成事業は、助成総額 300 万円を予定しました。

助成の区分	一般枠	特定枠
助成対象分野	活動分野に限定はなし。	東日本大震災で被災した人々を支援するボランティア活動に限定。
助成限度額等	1 事業について事業費総額の 4 分の 3 以内かつ、 金 50 万円 を上限とする。	1 事業について事業費総額の 4 分の 3 以内かつ、 金 30 万円 を上限とする。
	助成総額は 200 万円までを予定。	助成総額は 100 万円までを予定。
審査選考方法	書類審査を経て、団体訪問によるヒアリング調査を行い、公開審査会によるプレゼンテーションにて選定。	

④助成事業の内容

1. 平成 26 年度基本方針：A. 次代の市民活動の担い手育成を重視する。
B. 地域との連携の観点を重視する。
上記ABの一方、もしくは両方をふまえた申請内容とすることとした。
2. 助成対象期間：平成 26 年 10 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日までの 1 年間における事業を対象とした。
3. 選考優先事項：助成先選考にあたっては、上記の基本方針を踏まえ、かつ市民社会の確立・存続にふさわしい草の根性、開拓性・先駆性、団体としての継続性のあるものを、優先しました。
4. 助成対象経費：給料・手当（人件費）、福利厚生費、会議費、旅費交通費、通信運搬費、物品購入費、消耗什器備品費、消耗品費（事務用品費）、修繕工事費、印刷製本費、燃料費、光熱水費、地代家賃（賃借料）、保険料、諸謝金（謝礼金）、負担金（諸会費）※交際費は対象外。

⑤申請受付 期間；平成 26 年 7 月 22 日（火）～平成 26 年 8 月 29 日（金）

個別相談団体数：19 団体

申請受付団体数：52 団体（一般枠；46 団体（うち 1 団体辞退）、特定枠；6 団体）

⑥書類選考 以下の通り、書類選考（1 次審査）を実施した。

開催日時 : 平成 26 年 9 月 18 日 (木) 13:30~15:30
 場 所 : しみん基金・こうべ事務所
 形 式 : 理事会にて審議
 選考結果 : 18 団体 (一般枠 ; 14 団体、特定枠 ; 4 団体)

⑦ヒアリング調査 以下の通り、書類選考された 18 団体の活動拠点を理事等で手分けして訪問し、ヒアリング調査を実施した。

期 間 : 平成 26 年 10 月 1 日 (水) ~平成 26 年 10 月 9 日 (木)
 形 式 : 当基金理事による訪問、ヒアリング調査報告書の作成

⑧公開審査会 以下の通り、書類選考された 18 団体のプレゼンテーションによる公開審査会を開催した。

開催日時 : 平成 26 年 10 月 29 日 (水) 13:00~17:00
 会 場 : 神戸市生涯学習センター (コムスタ神戸)・多目的 (301 号) 室
 出席審査員 (順不同・敬称略) :
 森崎 清登 (審査員長)、清水 勲夫、藤井 英映、相川 康子
 河口 紅、齋本 郁、津久井 進、中島 淳、山田 剛司、湯谷 茂樹

⑨助成先決定団体・事業

公開審査会での選考結果を受けて、下表の 9 団体 (一般枠:6 団体、特定枠 ; 3 団体) の各事業に合計 2,584,000 円 (一般枠 ; 1,684,000 円、特定枠 ; 900,000 円) の助成金を交付することを、同日に開催された当基金理事会の審議により決定した。

区分	番号	団体名	事業名
一般枠	1	(特活) はちどり人権塾	「みんなで作る人権かるた」作成事業
	2	東灘こどもカフェ	新しいふるさと (淡路島) との居場所交流事業
	3	神戸・子どもと教育ネットワーク	「いのちをつなぐイベント」in 神戸~神戸大空襲を風化させないために
	4	(特活) 元気ファーマーいながわ	野菜づくり講座の開設
	5	西区聴力言語障害者福祉協会	西区聴覚障害者災害対策委員会運営事業
	6	(特活) 女性と子ども支援センター ウィメンズネット・こうべ	ひとり親家庭小中学生への学習支援とボランティア養成事業
特定枠	7	福島ハーメルン・プロジェクトジョイントチーム	福島の子どもたちに夢と元気を! ワクワク淡路島発見キャンプ
	8	神戸大学東北ボランティアバスプロジェクト	神戸大学東北ボランティアバスプロジェクト
	9	トモニプロジェクト	神戸と東北を結ぶ・防災女性学習会

⑩覚書締結・助成金交付

上記各団体としみん基金・こうべ事務所にて、11 月 11 日 (火) に助成金交付に関する覚書を締結しました。また、11 月 26 日 (水) までに、各団体に対して助成金を交付しました。

⑪助成先団体活動レポート

昨年度から、助成先団体が助成金を使用してどのような成果を生み出しているのかを、広く寄附者や市民に知ってもらうために、助成先団体を訪問して、その活動の様子をレポートとしてまとめて、当基金ホームページで発信しています。合わせて、団体訪問時に、助成金交付後に事業内容等の変更の有無の確認を行っています。

- ・ 4/3 : あっとオーティズム
- ・ 7/30 : みんなの家
- ・ 10/1 : インターナショナル
- ・ 1/21 : 兵庫県子ども文化振興協会
- ・ 3/26 : 神戸・子どもと教育ネットワーク

(他団体についても、助成対象期間終了の平成 27 年 9 月末までに、随時訪問する予定です。)

イ) 平成 26 年度しみん基金・KOBЕ 特別賞 (旧草地奨励賞) / 黒田裕子特別賞

この賞は、当基金と縁の深い方々のご遺志に基づき、当基金設立以来のミッションである草の根支援の見地から、意義のある活動を活発に展開され功績のあった団体に対し授与されるものです。

公開審査会同日に開催された理事会の審議により、今年度は「Oneself」に決定しました。

合わせて、去る平成 26 年 9 月に急逝された故黒田裕子理事長の功績を祈念して、「黒田裕子特別賞」を設置して、「灘地域活動センター」に授与することとしました。

なお、後述の平成 25 年度助成事業成果報告会にて、両団体への贈呈式を行いました。

ウ) 平成 25 年度助成先事業成果報告会

平成 25 年度助成事業 (助成対象期間 : 平成 25 年 10 月 1 日 ~ 平成 26 年 9 月 30 日) について、平成 26 年 10 月末日までに事業報告書を提出頂きました。また、事業成果報告会を下記の通り実施しました。

- ・ 開催日時 : 平成 26 年 12 月 10 日 (水) 14:00~16:30
- ・ 開催場所 : 神戸市生涯学習センター (コミスタ神戸) ・ 多目的 (301 号) 室
- ・ 発表団体 : 1. あっとオーティズム
2. Future Code
3. ウエルネスハート
4. みんなの家
5. 日韓学生会議
6. 私の好きなこの街復興支援プロジェクト
7. 神戸 YWCA
8. バレンタインチーム

・ 開催のねらい :

- ①各団体の事業によって得られた社会的な成果を、寄附提供者や審査のプロセスにご協力いただいた皆さんと共有する。
- ②市民活動・ボランティア活動など民間による公益的活動を市民自らの力で支えることの大切さを分かち合う。
- ③各団体報告を傾聴することで新しい気づきや学びと出会いやネットワークづくりのきっかけにご活用していただく。

2 寄附・募金活動

ア) 寄附金・募金受入

以下のみなさんより寄附金を頂きました。(敬称略・順不同)

中島 秀男	飛田 雄一
津久井 進	森本 樹
江口 聰	白水 士郎
あじさい基金	羽下 大信
(一財) 敬愛まちづくり財団	山田 剛司
菅本 郁	西岡 潤二
住友ゴム工業(株)	大内 晴
兵庫県遊技業協同組合	赤松 竜
こうべ・あいウォーク 2015 実行委員会	復興支援コンサート実行委員会
被災地 NGO 協働センター	(特活) 神戸まちづくり研究所
映画を観て東北支援うたごころ上映実行委員会	
室崎 益輝	
神戸青年会議所じゃがいもクラブ西チャリティ募金	
吉芳住吉店	オレンジスリフティ
赤坂飯店	しみん基金 KOBE 事務所
オレンジスリフティ へ古着を提供して頂いた皆様	

総額 ￥ 2,584,798

皆様方のあたたかいお志に心より感謝申し上げます。

イ) イベント募金

① こうべ・あいウォーク2015 (協働事業)

市民活動を精神的にも資金的にも支援するという理念を次の世代に受け渡すイベントとして開催しました。スタート地点での募金(一口千円)は、当日の経費を差し引いて当基金へご寄付頂きました。

■主催: こうべ・あいウォーク実行委員会(神戸復興塾、(特活)神戸まちづくり研究所、(特活)まちコミュニケーション、(特活)しみん基金・こうべ)

■協力: 近畿労働金庫地域共生推進部

■日時: 平成27年1月11日(日) 9:30~13:30

■場所: 長田区(大国公園~鉄人28号モニュメント前、大正筋商店街、丸五市場... ~みくら5)

■実績: 参加者/約170人、寄附金額/¥170,806

② 竹下景子詩の朗読とメモリアルコンサート (協働事業)

1995年1月17日は私たちにとって、永遠に特別の日であり続けます。20年を経てまちの相貌に大震災の傷跡を見出しにくいほど、復興を遂げたかのように見えるのかも知れません。しかし、今なおケアが必要な方々も含めて、多くの課題が残り、未曾有の災禍は日本の構造的脆弱性を直撃し、私たちの奥深くに突き刺さったままです。阪神・淡路大震災20年を想い、約3年ぶりに神戸で行う竹下景子さんの詩の朗読は、深いメモリアルとして明日への希望のメッセージでもありました。

当会は、主催団体の復興支援コンサート実行委員会の構成団体のひとつとして、当日までの企画準備の支援とボランティアのコーディネートを担当しました。

■主催: 復興支援コンサート実行委員会/ひょうご安全の日推進県民会議

■共催: (公財)兵庫県芸術文化協会、後援: 神戸市

■協賛: 積水ハウス(株)、(株)フェリシモ、(有)ボック、アートスペース高瀬舟、住友ゴム工業(株)

■協力: MBS/東北大学災害科学国際研究所

■日時: 平成27年1月18日(日) 14:00~16:00

■場所: 兵庫県立芸術文化センター阪急中ホール

■出演者: 竹下景子、林晶彦、金関環、マリオネット、伝三F、

ZIPANGU「絆」マンドリンオーケストラ、オリンピック都保育園

■実績: 参加者/約750人、寄附金額/¥60,000

③ 「うたごころ(2012年版)」上映会&榛葉健監督講演会 (協働事業)

東日本大震災から4年。阪神・淡路大震災から20年。かつて未曾有の災害を経験した神戸でも、2つの震災の風化は、日々進んでいるのではないのでしょうか?

私たちは、今なお困難を抱えながら生活されている方々に想いを馳せつつ、“震災の先にある希望を目指して”というメッセージを神戸から発信するとともに、この映画で描かれている主人公の女子高生の心模様を通じて、“いのち”の大切さを分かち合いたいと思い、このイベントを企画しました。

なお、このイベントによる収益は、コープこうべとしみん基金・こうべで折半し、しみん基金・こうべとしては、「ずっと・こころ・つなぐ基金」に積み立て、KOBE発の東日本大震災被災者支援をする団体向けの助成金として活用することとしました。

- 主催：映画を観て東北支援うたごころ上映実行委員会
- 協力：近畿労働金庫地域共生推進部
- 後援：兵庫県生活協同組合連合会、神戸市教育委員会
- 日時：平成27年3月6日（金）昼の部／13:30～16:00、夜の部／19:00～21:30
- 場所：東灘区民センター「うはらホール」
- 実績：参会者／約300人、寄附金額／¥80,105

ウ) 協働企画寄付システム

①古着チャリティ事業（協働事業）

この事業では、環境負荷を抑えるために使用しなくなった衣類等の提供を通じて、市民の社会貢献意識の定着と市民によるボランティア活動を支えるファンレイジングを目的としています。

店内ポスター掲示、サンクスカード、お礼状は継続、今年度より新たに、(有)長崎屋ホワイト急便神戸と提携して、クリーニング回収チェーン店のうち3店舗に「古着寄附 BOX」を設置して、古着チャリティ事業の認知度を高め、古着回収量の増加に努めました。

■提携先：オレンジスリフティ 寄附金額：¥326,803

② あじさい基金（協働事業）

神戸市職員有志（参加者：40名ほど）による、毎月給与から250円／口を天引きし積立てることで、当会を支えるための募金活動として、2004年から続けられています。平成26年8月6日に神戸市役所内の「協働と参画のプラットホーム」で贈呈式がありました。

■寄附金額：¥300,000

③ その他

- 1) ろうきんNPO 寄付システム 提携先：近畿労働金庫、寄附金額：¥12,000
- 2) 募金箱 協力設置場所：14ヶ所 募金金額：¥31,300
- 3) Yahoo ネット募金への登録

エ) 広報・情報発信

- ① ニュースレター発行：3回
第33号：平成26年7月、第34号：平成26年12月、第35号：平成27年3月
- ② ホームページ・FB；最新情報を約週1回ペースで更新
・CANPAN クレジット決済サイトのリニューアル
- ③ メルマガ発行：7回（4/28、7/28、9/19、10/2、11/4、1/5、2/12）
- ④ 検索サイト YahooYDN・Google Adwords の開始
・YahooYDN の広告掲示回数（3月） 2,841,114回、クリック数201回、クリック率0.0071%
・Google Adwords の広告掲示回数（3月） 3,710回、クリック数12回、クリック率0.32%
- ⑤ ずっと・こころ・つなぐ基金用ポスターの制作
- ⑥ オレンジスリフティ店内用ポスター更新

3 中間支援事業

ア) ハンズオン型 NPO マネジメント支援講座事業 (助成事業)

この事業は、昨年実施した「ひょうご地域 NPO マネジメント講座」に引き続き、神戸・兵庫地域の NPO 法人等を対象として、現状の経営分析を行い、課題を抽出して中期計画づくりを行うことを通じて、NPO 法人等の経営層のマネジメント能力の向上を図ることを目的とした基本コースと、昨年度受講した団体向けに、PDCA サイクル (Plan (計画) → Do (実行) → Check (評価) → Act (改善)) をまわすことを定着させていくことを目的としたフォローアップコースで構成され、下記の通り実施いたしました。

なお、この事業はひょうごボランティア基金・中間支援助成の受託事業として実施しました。

[実施概要]

A. 基本コース

- (1) 座学講座：5 回開催 (3 時間/回) / プレゼン+レクチャー+ワーク
 - ① 2014年11月13日 (木) 第 1 回座学講座「NPO マネジメント論～ミッション・ビジョンの重要性」
 - ② 2014年12月18日 (木) 第 2 回座学講座 「ステークホルダー分析手法を学ぶ」
 - ③ 2015年1月15日 (木) 第 3 回座学講座 「SWOT 分析手法を学ぶ」
 - ④ 2015年2月20日 (金) 第 4 回座学講座 「BSC による中期 (事業) 計画づくりを学ぶ」
 - ⑤ 2015年3月19日 (木) 第 5 回座学講座 「中期 (事業) 計画案」の発表
- (2) 個別訪問：4 回 (2 時間程度/回) × 4 団体へ訪問/個別に課題作成を支援する
 - ① 座学①-②間で訪問し、「ビジョン検討シート」作成を個別支援
 - ② 座学②-③間で訪問し、「ステークホルダー分析シート」作成を個別支援
 - ③ 座学③-④間で訪問し、「SWOT 分析シート」作成を個別支援
 - ④ 座学④-⑤間で訪問し、「中期 (事業) 計画案」作成を個別支援
- (3) 受講団体 4 団体
 - ① (特活) 東灘地域助け合いネットワーク (神戸市東灘区)
 - ② (特活) 保育ネットワーク・ミルク (三田市)
 - ③ (特活) ふおーらいふ (神戸市垂水区)
 - ④ 東灘こどもカフェ (神戸市東灘区)

B. フォローアップコース

- (1) 個別訪問：3 団体
 - ① 2014 年 7～12 月 活動状況の中間フォロー 1～2 回/団体、延べ 5 回
 - ② 2014 年 10～12 月 専門家派遣 1 回
 - ③ 2015 年 2～3 月 今年度事業の評価と次年度計画見直し 1～2/団体、延べ 5 回
- (2) 受講団体 3 団体
 - ① みんなの家 (神戸市東灘区)
 - ② (特活) インターナショナル (神戸市中央区)
 - ③ (特活) あっとオーティズム (芦屋市)

[実施体制]

- ・スーパーバイザー兼講師：當間克雄氏 (兵庫県立大学経営学部・教授)
- ・講師兼アドバイザー：河合将生氏 (Office Musubime・代表、准認定ファンドレイザー)
- ・アドバイザー兼事務局：江口聰 (当基金事務局長、認定ファンドレイザー)
- ・事務局：戸田香苗 (当基金スタッフ)

イ) NPO 支援活動

- ① 神戸市アドバイザー派遣事業 主催：(特活) 神戸まちづくり研究所 (神戸市からの委託事業)
 - ・ NPO 運営ステップアップ講座：3 回 (9/22、2/13、2/25、うち 1 回講座企画担当)
 - ・ MTG・ケース検討&全体報告会：5 回 (4/14、5/23、12/5、2/12、3/24)
- ② ひょうご中間支援 NPO ネットワーク 事務局：(特活) シミンズ・シーズ
 - ・ MTG：1 回 (12/16)
- ③ 中間支援 NPO と行政の意見交換会 主催：神戸市プラットフォーム
 - ・ MTG：1 回 (10/15)
- ④ 企業と NPO のマッチング事業 主催：(特活) コミュニティ・サポートセンター神戸
 - ・ 住友ゴム工業(株) CSR 推進室の NPO 交流会を共催：1 回 (10/1)
- ⑤ ファンドレイジング研究会・関西 協働：日本ファンドレイジング協会
 - ・ 研究会：3 回 (4/5、7/6、2/21)、チャプター設立準備：4 回 (9/15、12/7、2/1、3/21)
 - 2015 年度から「日本ファンドレイジング協会・関西チャプター」として活動
- ⑥ 市民ファンド推進連絡会 事務局：(特活) 市民社会創造ファンド
 - ・ MTG：5 回 (6/19、12/17、1/19、2/19、3/10) ・研究会：2 回 (6/19、9/11)
 - 2015 年度からトヨタ財団より助成を受けて市民社会創造ファンド内に「市民ファンド推進基金 (仮称)」を設置
- ⑦ (特活) 環境市民・組織基盤強化支援 助成元：パナソニック NPO サポートファンド
 - ・ MTG：16 回 (4/6、4/13、4/28、5/20、6/6、6/16、7/11、8/3-4、8/11、9/8、10/11、11/25、12/8、12/24、1/16、3/12)
- ⑧ 講演等その他
 - (ア) 平成 26 年 8 月 11 日 「兵庫県 NPO 中間支援組織の 20 年」インタビュー
受け手：黒田理事長、江口事務局長 主催：(特活) コミュニティ・サポートセンター神戸
 - (イ) 平成 26 年 8 月 26 日 「柏崎まちづくりネットあいさ」視察受け入れ
受け手：瀬戸口専務理事、江口事務局長 目的：市民ファンド設立に向けて事例研究
 - (ウ) 平成 27 年 2 月 7 日 講座「地域づくりプロデューサー養成講座・ファンドレイジング」
講師：江口事務局長、主催：(特活) シンフォニー @尼崎
 - (エ) 平成 27 年 2 月 9 日 講座「助成金申請を成功させるためには？」
講師：江口事務局長、主催：(特活) 北播磨市民活動支援センター @小野
 - (オ) 平成 27 年 2 月 10 日 六甲道生きがい活動ステーション市民塾「断捨離で社会貢献！～オレ

ンジスリフティの取り組み紹介」

話し手：江口事務局長、主催：(特活) コミュニティ・サポートセンター神戸

(カ) 平成 27 年 2 月 25 日 NPO 起業・運営合同相談会「想いを実現させる資金セミナー」

ゲスト相談員：江口事務局長、主催：生きがい仕事サポートセンター播磨東 @明石

ウ) はあ〜とふるふぁんど支援（ボランティアあしすと部門）事業（受託事業）

21 世紀は、コミュニティを支える人々の心や地域社会に根ざした文化とともにあらゆる人々の交流が重要になってきます。「兵遊協・ハート玉福祉支援事業/はあ〜とふるふぁんど」は、兵庫県遊技業協同組合加盟の遊技ホールのお客さまの協力を得て、遊技時に出たこぼれ玉や景品交換後の余り玉、それにホールからの寄付金を加えて、基金として積み立てていきます。その基金を、県内の福祉事業及び地域振興事業の支援金として毎年寄付し、地域への貢献、文化の育成を図る事業です。(はあ〜とふるふぁんど申請書より抜粋)

- ・ 支援対象 兵庫県内で地域ボランティア活動を行っている 5 名以上で構成される団体。
- ・ 支援金額 全体の活動費の 4 分の 3 相当で、最高 100 万円。
- ・ 受付期間 平成 27 年 1 月 5 日（月）～平成 27 年 3 月 6 日（金）
- ・ 申請受付団体数 83 団体（うち、22 団体に支援金交付予定）

4 運営管理

ア) 会議

① 定時総会

開催日：平成26年5月26日（月）18:00～19:00

開催場所：しみん基金・こうべ事務所

出席会員数：29名（うち委任状提出20名）、正会員数：39名

審議事項：（1）平成25年度事業報告並びに決算報告

（2）平成26年度事業計画案並びに予算計画案

（3）基本財産の取り崩しについて

（4）役員（理事・監事）任期満了に伴う改選について

（5）定款変更について

② 理事会

1) 平成26年5月19日 開催場所：しみん基金・こうべ事務所

審議事項：①平成26年度定時総会付議事項、②審査員選任、③正会員退会

2) 平成26年9月18日 開催場所：しみん基金・こうべ事務所

審議事項：①助成事業／一般枠・特定枠の書類選考

3) 平成26年10月29日 開催場所：コムスタこうべ305号室

審議事項：①公開審査会選考結果承認・助成先決定、②しみん基金 KOBÉ 特別賞選考、③基本財産の取崩について、④理事長職務代行について、⑤今年度事業について

4) 平成27年2月26日 開催場所：しみん基金・こうべ事務所

審議事項：①正会員入退会、②今年度事業の評価と来年度事業の検討、③新理事長の互選について→戒理事が新理事長に内定。定時総会の承認を経て正式に就任。

③ 四役運営会議

1) 平成26年4月23日 開催場所：しみん基金・こうべ事務所

議事内容：平成25年度事業報告・決算報告、平成26年度事業計画・予算計画、平成26年度助成事業、ボランティア募集

2) 平成26年11月17日 開催場所：しみん基金・こうべ事務所

議事内容：新理事長互選について、寄付集め戦略について、平成26年度助成事業ふりかえり

3) 平成27年2月2日 開催場所：しみん基金・こうべ事務所

議事内容：新理事長互選について、

④ 理事・審査員合同会議

平成26年7月29日 開催場所：しみん基金・こうべ事務所

議事内容：平成26年度助成事業の基本方針・審査基準・スケジュールについて

イ) 運営上の重要事項

①黒田裕子理事長ご逝去

平成26年9月24日に、当法人創設以来理事長を務められてきた黒田裕子理事長が逝去されました。また、同年12月21日に、コープこうべ生活文化センターにて「黒田裕子を偲ぶ会」が開催されました。謹んでお悔やみ申し上げます。

② 基本財産の取り崩しについて

平成26年度定時総会での議決に基づいて、平成26年10月29日の理事会での承認を経て、同年11月14日に基本財産（約2500万円）のうち300万円を運用財産に繰り入れました。

③ 定款変更認証について

平成26年定時総会での議決に基づいて、平成26年8月29日に定款変更を所轄庁に正式に申請しました。主な変更内容は、新NPO会計基準の採用によるものです。同年11月20日に定款変更が認証されました。